



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ルネサンス

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 最高財務責任者財務担当 (氏名) 田中 俊和

TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,417	3.4	1,395	31.9	1,264	27.7	677	20.0
27年3月期第2四半期	20,711	—	1,057	—	990	—	564	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 684百万円 (19.9%) 27年3月期第2四半期 570百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	45.44	—
27年3月期第2四半期	26.42	—

(注) 当社は、平成27年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	30,640	—	7,003	—	—	22.9
27年3月期	29,099	—	6,617	—	—	22.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,003百万円 27年3月期 6,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,900	4.4	3,100	13.0	2,900	10.0	1,500	3.7	100.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	21,379,000 株	27年3月期	21,379,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	6,458,376 株	27年3月期	6,458,376 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	14,920,624 株	27年3月期2Q	21,378,624 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(株主資本等関係)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢及び所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調となりましたが、中国の経済成長の減速による海外景気の下振れリスクが高まったことで、株式市場が大きく変動する等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

フィットネス業界においては、国民一人ひとりの運動意欲や健康増進意識の高まりとともに、顧客ニーズに特化した新たな小型業態の導入等、活発な動きが続いております。また、10月にスポーツ庁が発足し、オリンピック・パラリンピックに向けた選手強化やスポーツの普及による健康増進といった国のスポーツ施策が一元的に推進される体制となったことで、国内におけるスポーツ振興の更なる進展が期待されるとともに、当業界への注目も高まっております。

そのような中、当社グループでは、『生きがい創造企業』の企業理念のもと、“「顧客感動満足」、「従業員感動満足」の実現”を目指して運営に取り組んでおります。

当第2四半期連結会計期間末の当社スポーツクラブの在籍会員数は、フィットネス、スクール共に好調に推移し、既存クラブ(新規出店や閉店等を除く、同一条件での比較が可能なクラブ)の在籍会員数は、前年同期に比べ1.8%増となりました。さらに、“地域を健康に!”をテーマとして、スポーツクラブ周辺地域の自治体、企業や健康保険組合等の健康づくり事業の受託など、スポーツクラブ会員向けサービス以外の取り組みも積極的に推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間における施設の状況は、新規施設として、5月に元氣ジム光が丘(東京都練馬区)、6月にバニスタ千歳船橋(東京都世田谷区)をオープンいたしました。バニスタ千歳船橋は、ボディキュット千歳船橋を業態転換し、新たに開発した女性専用のフィットネススタジオ業態となります。また、6月より、スポーツリゾート施設のルネサンス棚倉(福島県東白川郡)の業務受託運営を開始いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の施設数は、直営107クラブ、業務受託12施設、リハビリ12施設の計131施設となりました。

既存クラブの改装及び設備更新は、5月にルネサンス青砥(東京都葛飾区)、ルネサンス名古屋小幡(名古屋市守山区)、6月にルネサンス小倉(北九州市小倉北区)、8月にルネサンス浦和(さいたま市浦和区)、ルネサンス岐阜LCワールド(岐阜県本巣市)、9月にルネサンス・アリオ札幌(札幌市東区)において実施し、施設環境の整備と魅力向上に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は214億17百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

営業利益は13億95百万円(同31.9%増)、経常利益は12億64百万円(同27.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億77百万円(同20.0%増)と、各利益項目で中間期の過去最高益を更新いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間における主なトピックスは以下のとおりです。

・ 全国のルネサンス店舗に、ホスピタリティ・コーディネータ認定資格取得者を配置

NPO法人日本ホスピタリティ推進協会及び日本ホスピタリティ教育機構が展開する「JHMA認定ホスピタリティ・コーディネータ」「JHMA認定アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ」の認定資格を、当社の従業員225名が取得いたしました。

当社は、企業行動指針において、「ホスピタリティ精神」を重要な価値観として掲げております。ホスピタリティ・コーディネータ認定資格取得者を全国のルネサンス店舗に配置することで、お客様への更なるサービス品質向上を目指してまいります。

・ 「オリコン日本顧客満足度ランキング」ヨガスタジオ部門でドゥミルネサンスが総合第1位を獲得

9月15日に発表された、「2015年オリコン日本顧客満足度ランキング」のヨガスタジオ(首都圏)部門において、ドゥミルネサンスが総合ランキングで第1位に選ばれました。

ドゥミルネサンスは、女性専用スタジオ単体型業態として、9月現在、東京都内の山手線沿線を中心に9店舗を展開しています。今回の総合ランキング第1位は、“ココロとカラダを整える、女性のための駅前スタジオ”として、皆様に高く評価された結果であると考えております。

今後も、健康で豊かなライフスタイルを提案できるスタジオとして、多くの女性の皆様にご支持いただけるよう、サービスの向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億40百万円増加し、306億40百万円となりました。これは主に、今後の新規出店に伴い建設仮勘定が増加したことにより固定資産合計が14億17百万円増加したことによるものです。

ロ. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億54百万円増加し、236億36百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことにより流動負債合計が10億50百万円増加したことによるものです。

ハ. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加し、70億3百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6億77百万円を計上したこと、前連結会計年度末配当金2億98百万円を支払ったことによるものです。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.2ポイント増加し22.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高は8億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間 12億96百万円(前年同期 14億32百万円)

営業活動により得られた資金は、12億96百万円(前年同期比9.5%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億48百万円(同19.2%増)、減価償却費9億61百万円(同3.6%増)、法人税等の支払額6億14百万円(同9.0%増)によるものです。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間△20億56百万円(前年同期△13億9百万円)

投資活動に使用した資金は、20億56百万円(前年同期比57.1%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出20億77百万円(同63.4%増)によるものです。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間9億円(前年同期1億39百万円)

財務活動により得られた資金は、9億円(前年同期比544.6%増)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額11億円(同57.1%増)、長期借入れによる収入15億円(同114.3%増)、長期借入金の返済による支出12億66百万円(同49.6%増)、配当金の支払額2億97百万円(同0.1%減)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、平成27年5月11日公表の通期連結業績予想に修正はありません。

なお、当第2四半期末配当(中間配当)は、平成27年5月11日に公表しましたとおり、1株当たり10.0円を実施いたします。また、期末配当は、1株当たり15.0円を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	640,390	780,662
売掛金	961,353	809,891
商品	182,811	177,147
その他	1,604,551	1,744,431
貸倒引当金	△10,388	△10,135
流動資産合計	3,378,717	3,501,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,199,524	5,170,237
リース資産(純額)	6,351,951	6,198,611
その他(純額)	2,919,034	4,658,000
有形固定資産合計	14,470,510	16,026,848
無形固定資産	949,422	895,148
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,305,871	8,279,880
その他	1,995,325	1,936,284
投資その他の資産合計	10,301,197	10,216,164
固定資産合計	25,721,130	27,138,161
資産合計	29,099,847	30,640,159
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	190,822	240,890
短期借入金	400,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,386,000	2,365,000
未払法人税等	670,363	555,235
賞与引当金	736,099	759,795
資産除去債務	2,956	6,885
その他	4,051,158	4,060,155
流動負債合計	8,437,400	9,487,962
固定負債		
長期借入金	5,825,000	6,080,000
リース債務	6,255,805	6,114,856
退職給付に係る負債	493,913	512,424
資産除去債務	667,243	673,838
その他	803,175	767,781
固定負債合計	14,045,139	14,148,901
負債合計	22,482,539	23,636,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	7,162,441	7,542,006
自己株式	△5,495,940	△5,495,940
株主資本合計	6,633,855	7,013,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,817	2,133
為替換算調整勘定	3,466	5,590
退職給付に係る調整累計額	△21,830	△17,847
その他の包括利益累計額合計	△16,546	△10,124
純資産合計	6,617,308	7,003,295
負債純資産合計	29,099,847	30,640,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	20,711,066	21,417,691
売上原価	18,763,143	19,053,661
売上総利益	1,947,923	2,364,030
販売費及び一般管理費	※ 890,083	※ 968,436
営業利益	1,057,840	1,395,593
営業外収益		
受取利息	14,967	13,746
受取手数料	48,192	57,152
その他	21,013	12,672
営業外収益合計	84,173	83,570
営業外費用		
支払利息	132,961	147,806
その他	18,919	66,571
営業外費用合計	151,880	214,378
経常利益	990,132	1,264,786
特別損失		
固定資産除却損	14,159	15,566
減損損失	10,922	50,275
店舗閉鎖損失	—	50,332
その他	1,864	101
特別損失合計	26,947	116,275
税金等調整前四半期純利益	963,185	1,148,510
法人税、住民税及び事業税	410,341	470,359
法人税等調整額	△12,041	174
法人税等合計	398,300	470,533
四半期純利益	564,884	677,977
親会社株主に帰属する四半期純利益	564,884	677,977

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	564,884	677,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	315
為替換算調整勘定	1,934	2,124
退職給付に係る調整額	4,029	3,982
その他の包括利益合計	6,002	6,422
四半期包括利益	570,887	684,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	570,887	684,399
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	963,185	1,148,510
減価償却費	928,103	961,135
減損損失	10,922	50,275
店舗閉鎖損失	—	50,332
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,186	24,394
長期未払金の増減額 (△は減少)	26,220	△18,107
賞与引当金の増減額 (△は減少)	144,612	23,696
固定資産除却損	14,159	15,566
受取利息及び受取配当金	△15,004	△13,779
支払利息	132,961	147,806
売上債権の増減額 (△は増加)	8,972	151,461
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,067	8,411
前払費用の増減額 (△は増加)	△79,685	△57,900
仕入債務の増減額 (△は減少)	68,189	50,067
未払金の増減額 (△は減少)	△410,423	△106,915
未払費用の増減額 (△は減少)	30,421	△943
前受金の増減額 (△は減少)	60,172	103,637
未払消費税等の増減額 (△は減少)	210,542	△452,017
その他	29,618	△27,076
小計	2,129,088	2,058,555
利息及び配当金の受取額	131	195
利息の支払額	△133,159	△148,290
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△563,435	△614,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,432,625	1,296,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,271,084	△2,077,085
無形固定資産の取得による支出	△103,033	△28,425
敷金及び保証金の差入による支出	△54,870	△40,392
敷金及び保証金の回収による収入	64,547	16,347
その他	55,318	73,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,309,122	△2,056,077
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000	1,100,000
長期借入れによる収入	700,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△846,500	△1,266,000
リース債務の返済による支出	△116,049	△136,441
配当金の支払額	△297,813	△297,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	139,637	900,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	2,124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	265,074	142,357
現金及び現金同等物の期首残高	669,915	659,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 934,990	※ 801,739

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
従業員給料及び賞与	220,853千円	235,659千円
賞与引当金繰入額	61,313千円	66,094千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金	913,689千円	780,662千円
預け金(流動資産その他)	21,300千円	21,077千円
現金及び現金同等物	934,990千円	801,739千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月27日 取締役会	普通株式	299,300	14.0	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月26日 取締役会	普通株式	298,412	20.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年10月29日 取締役会	普通株式	149,206	10.00	平成27年9月30日	平成27年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26.42円	45.44円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	564,884	677,977
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	564,884	677,977
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378	14,920

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。